

おんなにと。やさしい道

喜名小学校五年 岸本 月乃

私は、毎日弟たちといっしょに歩いて登校します。道のそばにはかわいい草花が元気に咲いていて、楽しい気持ちで歩けます。私は朝散歩をしている近所の人に、よくあいさつをします。すると、

「ああ、岸本さんの子だねえ。お前はよう。」

と、にこにこしながら声をかけてもらってうれしくなります。朝から、草花や出会う人に

元気をもらって学校に行けるので、私はこの通学路が大好きです。

四月になって、登校するときに、車いすに

乗った幼稚園の男の子がお母さんと一緒に

登園するのをよく見かけるようになりました。

私はふと、この道はこの男の子にとって通り

やすいかな、と考えました。大きな道の車道

と歩道の境目は、段差をなくすためにゆるやかな

坂になっていました。私は、ああ、車い

すでも転ばないで歩道を歩けるな、と思っ

ほととしました。でも、横断歩道を渡ったあ
 と、私たちは細い近道に入りました。が、その
 子は広い道を遠回りして行きました。近道は
 片側に車か列になつて止まっています。向こう
 から車が来たら車いすでは危ないのです。私
 には便利な近道でも、その子にとつては不便
 で危険な道なんだなと、初めてわかりました。
 また、学校の周りには歩道がありますが、は
 ほかせまくなっている所があつて、弟と手を
 つないで歩きにくいです。そこは車道との段
 差が高くて、バランをくずすと車道に落ち
 てけかをしそうになります。きつと、あの車
 いすの子も通りにくくて困っていると思いま
 す。私たちか何気なく通っている道でも、す
 べての人にとつて安全ではないんだと気づき
 ました。だから、車いすでも安心して通れる
 広くて段差のない歩道がたくさんふえて欲し
 いです。また、国道や観光地の歩道にある点
 字ブロックがたくさん道のにふえたら、目の
 不自由な人が、もっと自由に行きたい所に行

けると思います。そして、私たちも、せまい
 道に車や自転車を止めたり、ごみを捨てたり
 して体の不自由な歩行者のじやまをすること
 はしないように意識するとか大切です。
 また、歩く人みんながいい気持ちになるよ
 うな取り組みも大切だと思います。国道ぞい
 の喜名番所の前には、婦人会の人たちがきれ
 いな花を咲かせていて、通る人の心をなごま
 せています。となりの上原さんは、へい。
 はいに、読谷村の村花であるフーゲンビレ
 をきれいに咲かせています。うちのおじい
 ちゃんも、門のそばでプランターにインパ
 ンスを咲かせています。き。と、家の前の道
 を通る人は、きれいな花を見て元気が出ると
 思います。私も元気が出る道作りがしたくて、
 プランターにミニひまわりを育てることにし
 ました。これから夏になって、太陽のような
 ひまわりがみんなに元気パワーをあはれるのを
 想像するとわくわくしてきます。今かわい
 い芽が出たばかりですが、毎日心をこめて、水

やりや草取りのお世話をごんぱります。

これから、自治体や私たち一人一人が力を
合わせて、道を通るすべての人にと、て安全
な元気の出る道、みんなにとてやさしい道
を少しづつふえていって、だいたいなと思います。